

## 社 報



## 事故は現場ではありません

## データバックアップ

仕事でコンピューターを使う機会が多くなっています。これから、どんどんコンピューターは普及していくことでしょう。が、コンピューターも機械ですから、いつ故障するとも限りません。電子機器はある日突然にトラブルを発生します。そしてその時には、すでに貴重なデータは失われてしまいます。

データのバックアップは必ずとるようにしましょう。データバックアップの相談は本社：森本まで



来月はおひな祭りですね！ハヤッ！

現場での事故は、人や物が傷つので、病院！修理！補償！と、大きな問題になります。

まして死亡災害ともなると、取り返しがつきません。現場での災害は、どうしても防ぎたいものです。

現場では、作業のミスは、事故になりやすく、事故はたいへん目立ちます。また、経済損失も大きく、後遺障害が残るケガともなると、精神的ダメージなど、計ることのできない、大きな問題となります。

このような事故は決して起こしてはいけません。

しかし、身体能力が元通りになるならば、現場事故の経済損失は計ることができると思います。

一度、災害が発生すれば、本人の治療費・休業補償費を始め、労災手続き・各種届出・再発防止対策費などなど、多くの費用と労力・時間を使います。

だとしても、事故が不幸な結果とならなければ、反省のしがいもあるというものです。

では、現場作業から離れて考えてみるとどうでしょうか。

事務・デスクワーク・打合せ・連絡・報告など、企業活動の中では様々

な仕事が存在します。

現場での事故を、これらの業務上のミスに当てはめると、どんな事が起きているのでしょうか。

人や物が傷つかないことを良しとして、時間や費用など大きなロスを見逃していないでしょうか。

どちらかと言えば、作業の事故より、より多くの人に影響を与えることも多いので、経済的損失のトータルはこちらの方が大きいと思われる。小さなミスやロスは非常に多く発生していますが、目につくことは少ないからです。

現場作業での事故を減らすには、こうした人や物が傷つかないミスはどうやって減らすかを、工夫している企業風土が必要であると感じるようになりました。作業も事務も等しくミスに厳しくあるべきです。

もし、元請管理者の中に、現場への作業指示はきつく、自らの仕事の仕事にはあまいというような人がいれば安全第一の風土など生まれるはずがありません。

「安全が難しい！」のは、現場だけでなく企業の経営風土のすべてがそこに反映されるからです。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！

## 今年も2年連続で休業災害ゼロを達成しましょう！

昨年は悲願の休業災害ゼロを達成しました。安全・安全と口やかましいように言われますが、これも現場から事故をなくすためです。

そこで、安全の実力が本当であることを確かめるためにも、2年連続で休業災害ゼロを達成しましょう。

その為には、まず現場の整理整頓をきちんとすることです。

材料を管理できないで、安全管理など、できるわけがありません。整理整頓されている現場で災害が発生しても、原因にもよりますが、「そりゃ、しゃあない」です。

## 2006年 安全成績

現場災害 H18.1.1-H18.2.2	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
交通災害 H18.1.1-H18.2.2	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0